

令和7年度 第2回和知地区京丹波町立小中学校のあり方検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和7年8月22日（金） 午後7時30分～午後9時50分
- 2 開催場所 京丹波町役場 1階 防災会議室
- 3 出席者 (1) 構成員 10名
松本和久教育長、井戸仁委員、河谷尚都委員、原田美希委員、
才村路子委員、大田有次委員、春田貢委員、早川公雄委員、
川中愛映委員、森瀧ひろ香委員
(2) 事務局 6名
 - ・教育委員会
岡本教育次長、四方学校教育課長、長尾総括指導主事、
野口学校教育係長
 - ・和知小学校
梅原校長
 - ・和知中学校
船越校長
- 4 傍聴者 1名

5 会議の大要

(1) 会長あいさつ

【会長】なかなか毎日暑い日が続きますが、ちょっと夜になると涼しくなっていて、本当にもう秋が待ち遠しいなと思っております。先日も甲子園の野球を見ておりましたら、暑さに負けず、本当に生徒が一生懸命やってる清々しいプレーを見て、私自身も非常に気分が良くなりました。

小学校、中学校の現場の方も子どもたちの熱中症をずっと気をつけていただいております。暑さに負けずに頑張っておられるという話を聞いております。また明日は和知ふるさとまつりがあるということを知っておりますが、それも子どもたちの清々しい笑顔が見れるのではないかと期待をしているところです。今日は第2回ということで進めて参りますが、ワークショップを使って皆さんの忌憚のないご意見を皆さんとともに語り合えたらいいかなということを聞いておりますので、ぜひ皆さんよろしくお話ししたいと思います。

(2) 教育長あいさつ

【教育長】こんばんは、大変お世話なっております。今は小中学校ともに夏季休業中です。今のところ各学校からは心配するような報告はなく、それぞれ家庭で夏休みをしっかりと過ごしていただいているとの報告を学校から受けております。

ちょうど今、明日の和知ふるさとまつりの話がありましたが、先だって瑞穂ではみずほ夕涼み大会がありました。明日のふるさとまつりもそうですが、今、こうした地域のイベントと学校とが共同して取り組んでいます。京丹波町の学校教育は、「地域とともに歩む教育」ということで、昨日のみずほ夕涼み大会では京都新聞にも記事を書いていただき、ご存知かと思うんですが、今までこうしたイベントには学校はゲストで参加するという、どちらかといえばそういうスタイルだったんですが、瑞穂では地域のイベントを地域の役員の皆さんと学校、特に児童と一緒に企画を考えて取り組んでいます。イベントでは1部と2部に分けて、1部が小学生に企画を、そして中学生がそれに応援をするということで、しかも当日の運営も小学生が担当しています。このことは、これからの和知地区の小中学校のあり方で議論をいただく、学校と地域との関わりというあたりでも、少し関わってくるような話ではないのかなと思っておりました。明日は和知の小・中学校が和知ふるさとまつりにこちらもまた地域の皆さんと一緒に取り組むということでお世話になります。

さて、今日は2回目のあり方検討委員会ということで、前回はこのあり方検討委員会に至る経過であったり、また、こちら側からこういうことを議論していただきたいと諮問させていただきましたので、もう聞いていただくばかりではありましたが、井戸会長との話の中で、今日は皆さん方がこの和知の小・中学校の現状について様々考えておられること、それは言い方を変えれば、メリットであったりデメリットをですね、それぞれの立場から出していただいて、どこに検討すべき課題があるのかをワークショップを通じて共有していただきたいと思っています。今日のこの議論が3回目4回目続く議論のベースになるのではないかと考えております。この検討委員会の議論の中でも今日が大事な日になるのではないかなと期待をしております。そしてもう一つは、前回皆様方から検討するにあたっての資料をというご要望がありまして、後ほど事務局の方から説明をさせていただきます。今日は時間的に遅くなりますが、どうぞよろしく願いをいたします。

○教育長は所要のため退席

(3) 議事事項

ア 第1回検討委員会における意見を踏まえた資料等について

①～③について、事務局から説明を行った。

①小中一貫校に通う子どもの意見について（和知小学校梅原校長説明）

②近隣市の小中一貫校の状況について【資料－1①】（和知中学校船越校長説明）

②近隣市の小中一貫校の状況について【資料－1②】（岡本教育次長説明）

③和知地区における地域資源について【資料－2①】（和知小学校梅原校長説明）

③和知地区における地域資源について【資料－2②】（和知小学校梅原校長説明）

③和知地区における地域資源について【資料－2③】（和知中学校船越校長説明）

○事務局からの説明について意見・質問なし。

イ 交流協議＜ワークショップ＞

テーマ「子どもの学びと地域、それぞれのメリット・デメリット（課題は何か）」について資料－3①～③について、事務局から説明を行った。（四方学校教育課長説明）

○ワークショップでの主な意見は別紙の通り。

【Aグループまとめ】 発表者：船越校長

人数が多い場合、少ない場合、それぞれに良さがある。数の理論で機械的に考えるのではなく、地域で積み上げたものを残すことを踏まえて考えていくべき。文化や伝統、つながりを除外せず議論すべきである。

学校が集まることで少人数のデメリットが解消できるのではないか。

【Bグループまとめ】 発表者：早川委員

小中一貫校の議論で、できたら施設一体型と分離型は別々に議論できたらよかった。ただ、一貫校として考えた場合にメリットがたくさん出た。

小中学校の取り組みを通じて、和知地区の保護者の中ではある程度、小中一貫になるイメージができていると思う。ただし、少人数のままのデメリットもある。

中学校同士の統合についてもメリットは出たが、現時点で送迎の問題とか、和知地区に中学校がなくなってしまうところからすると、やっぱり中学校はあってほしい。

町内にある3中学校がもっとあらゆる分野で連携をしていけば良いのではないかと多く意見が出ました。その1つとして部活動拠点方式とかもっと伸びしろはたくさんある。

【井戸会長まとめ】

（本日の議論を）今ここでまとめるというのはなかなかできないが、皆さんがどんなメリットデメリットがあるのかということを考えていくことが重要で、そ

の中で今後どうしていくのかというあたりがポイントになってくると思います。

(4) その他・事務連絡・第3回委員会の日程について

次回9月25日(木) 午後7時00分

京丹波町役場 和知支所 小会議室

(5) 閉会あいさつ

【副会長】今日は長時間にわたりまして、最初の他地域の状況の報告であったりとか、今までの和知地区における小中連携の取り組みでありましたりとか、それぞれの小学校中学校の取り組みをご報告いただきました。

その後、ワークショップということで予想以上に面白かったです。

最初は、小中連携というのが取り組まれてこういうものなのかなというイメージを持ちながら、やはりその学校の規模であるとか人数とかいうところでのこれからどうしたらいいんだということになったらゼロベースで考えたときに本当にどうしたらいいんだらうなって悩んではいたんですけども、今日のワークショップを通じて、もう一度、今までの和知の地域で持っている財産でありますとか取り組みでありますとか、やってきたことの重要性であるとか、学校があるということの大切さとか、いうことも改めてご認識ができましたし、加えて中学校を統合しない場合のデメリットであったりとか、どのようにしていけばもっとより良い統合しない方法が見出せるのかなみたいな糸口までいろいろお話もできたように思います。

まだまだ結論というのはいらないと思うんですけども、何となくふわっと雰囲気が出来上がってきたのかなというのは非常に今日嬉しく感じた次第でございます。今後とも夜の会議ということでそれぞれ皆さんにはご苦勞をおかけするわけですけども、また今後ともお世話になります。今日もご苦勞様でした。ありがとうございました。

[閉会：21時50分]